令和８年度 大阪駅前における人中心の公共空間形成にかかる検討調査業務委託に係る公募型プロポーザル方式による選定結果について

１　案件名称

令和８年度 大阪駅前における人中心の公共空間形成にかかる検討調査業務委託
契約期間　契約日から令和９年３月 26 日まで

２　選定した委託予定事業者

日建設計・地域・交通計画研究所・総合調査設計特別共同企業体

３　公募期間

令和８年７月 13 日から令和８年８月 19 日

４　学識経験者の意見を聴取する選定会議の委員による審査の結果

(1) 選定会議委員名簿（敬称略）

補職名	氏名
同志社女子大学　生活科学部　教授	麻生　美希
京都大学防災研究所　特定教授	松島　格也
関西学院大学　経済学部　教授	山鹿　久木

(2) 選定会議の開催日　　令和８年９月２日

(3)　審査基準

<table>
<tr><th colspan="3">評価項目</th><th colspan="2">基準</th><th colspan="2">配点</th></tr>
<tr><td rowspan="3">業務実施体制</td><td colspan="2">実施体制の的確性</td><td colspan="2">同種業務の実績があるスタッフを配置し、業務を確実に遂行できる体制であるかを評価する。</td><td>10</td><td rowspan="3">20</td></tr>
<tr><td colspan="2">管理技術者</td><td colspan="2">同種業務の実績があるか、また、その実績として挙げた業務において中心的、あるいは主体的に参画したかを評価する。</td><td>5</td></tr>
<tr><td colspan="3">業務実施計画</td><td colspan="2">実施方針や実施手順の妥当性を評価する。</td><td>5</td></tr>
<tr><td rowspan="4">テーマに対する技術提案</td><td rowspan="2">テーマ１</td><td>合理性</td><td rowspan="2">【他都市事例】
大阪の新しいシンボルエリアとして人が憩える空間づくりの実現に向け、大阪駅前ダイヤモンド地区において公共空間形成の検討を行うにあたり留意すべき事項を示した上で、道路空間再編を行っている他都市の事例を参考となる理由とともに提示すること。
　また、事例を踏まえた大阪駅前ダイヤモンド地区の空間内での展開内容についても提案すること。
　なお、参考事例は大阪市外の事例とし、以下の２つの条件についてそれぞれ提示すること。
・全面歩行者空間化（車道なし）
・車道を一部残した歩行者空間化</td><td>事例選定の考え方や理由が、大阪駅前ダイヤモンド地区の道路再編検討の参考となる合理的なものであるかを評価する。</td><td>15</td><td rowspan="4">80</td></tr>
<tr><td>実現性</td><td>提示された他都市事例が、大阪駅前ダイヤモンド地区の地域特性等を踏まえた、実現性を伴ったものであるかを評価する。</td><td>15</td></tr>
<tr><td rowspan="2">テーマ２</td><td>提案力</td><td rowspan="2">【社会実験計画の作成】
「交通影響」および「歩行者空間の利活用」に関する社会実験について、社会実験を段階的に実施することを想定し、「交通影響」、「利活用」それぞれの社会実験計画について 2.(2).2)将来の自動車交通による影響の検討結果の反映プロセスを含め、提案すること。
　提案にあたっては、特徴の異なる複数パターンの整備イメージ案を対象に提案することを可能とする。
　ただし、提案数を評価するものではなく、提案内容について評価を行うものとする。</td><td>提案内容が、大阪駅前ダイヤモンド地区の道路再編における課題等を踏まえたうえで、魅力的な公共空間形成に資する優れたものであるかを評価する。</td><td>15</td></tr>
<tr><td>実現性</td><td>提案内容が、大阪駅前ダイヤモンド地区の地域特性等を踏まえた、実現性を伴ったものであるかを評価する。</td><td>15</td></tr>
</table>

	テーマ３	合理性	【再編後の空間の管理運営スキーム案】 テーマ２での提案内容を踏まえ、再編した道路空間における民間活力を活かした自立的な維持管理･運営スキーム案を提案すること。	提案内容が、大阪駅前ダイヤモンド地区の地域特性等を踏まえた合理的なものであるかを評価する。	10	
		実現性		提案された管理運営スキーム案が、大阪駅前ダイヤモンド地区の地域特性等を踏まえた、実現性を伴ったものであるかを評価する。	10	
計					100	

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

日建設計・地域・交通計画研究所・総合調査設計特別共同企業体

全１者

(5) 審査の結果（委員の評価点の合計点）

評価項目			A者
業務実施体制	実施体制の的確性		26 点
	管理技術者		15 点
業務実施計画			13 点
テーマに対する技術提案	テーマ１	合理性	29 点
		実現性	26 点
	テーマ２	提案力	31 点
		実現性	31 点
	テーマ３	合理性	24 点
		実現性	20 点
合計（300 点）			215 点